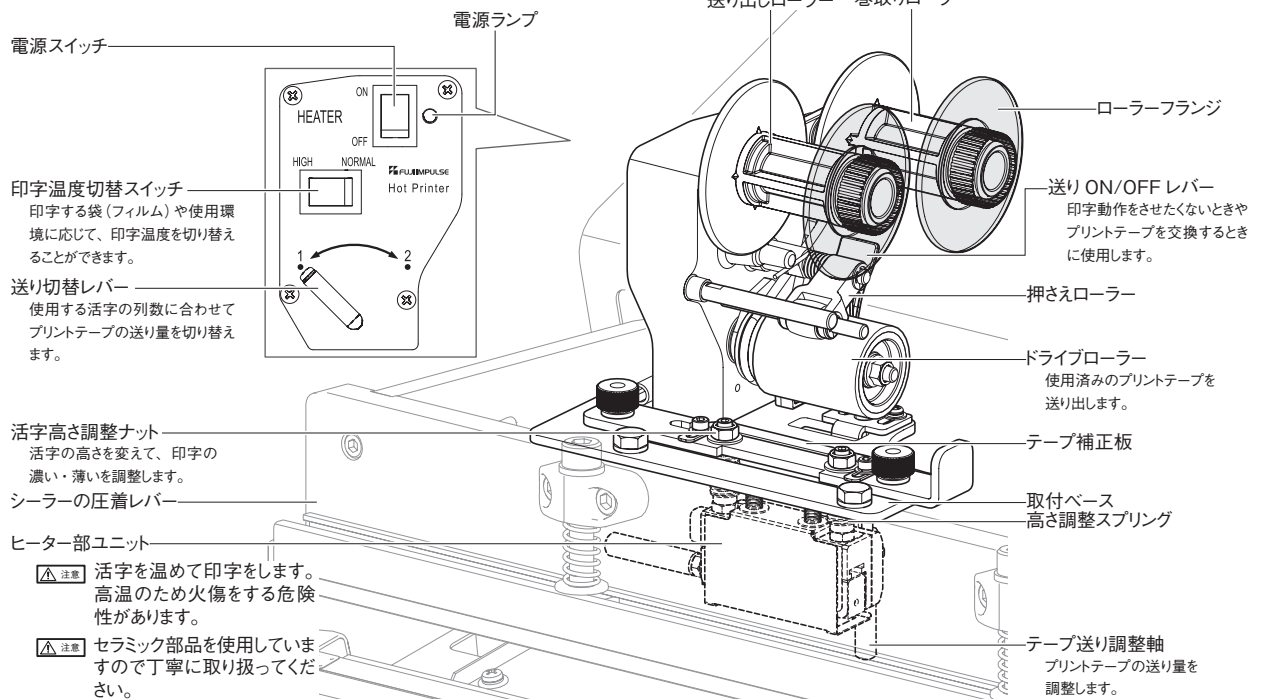
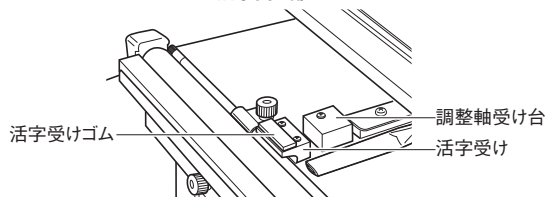


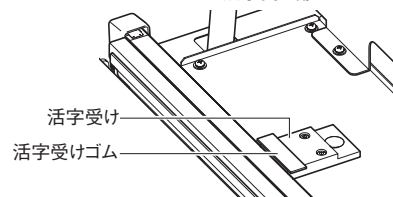
6 各部の名称とはたらき



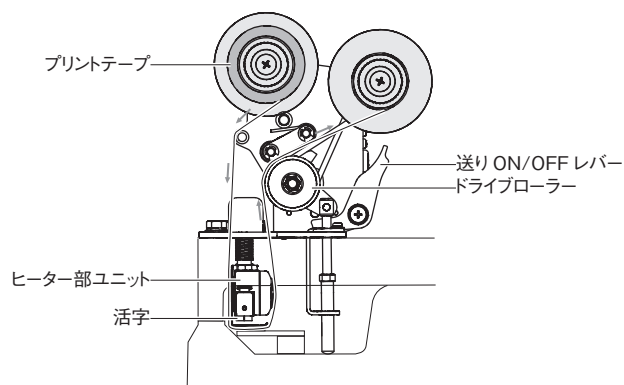
FEP-V-N3 の活字受け部



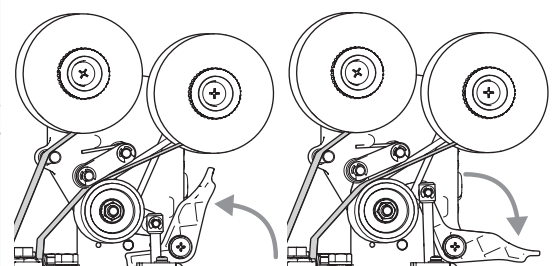
FEP-VA-N3 の活字受け部



本体ユニットの構造図



■ 送り ON/OFF レバーの操作について



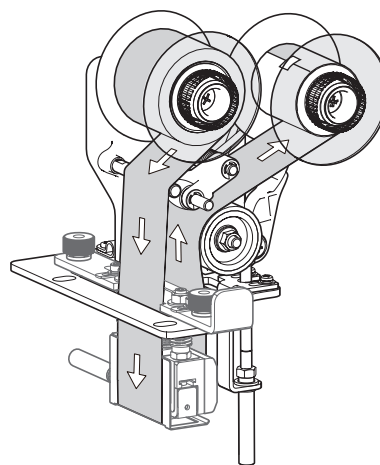
7 正しい使い方

製品を使用されるときは以下の『正しい使い方』をよくお読みいただき、お使いください。
以下の方法以外の操作方法で使用されますと故障の原因となり、たいへん危険です。

7-1 プリントテープを取り付ける

「8-2 プリントテープ交換」(→ P.18)を参照して、
プリントテープをプリンターにセットします。

MEMO 工場出荷時にはあらかじめプリントテープがセットされています。

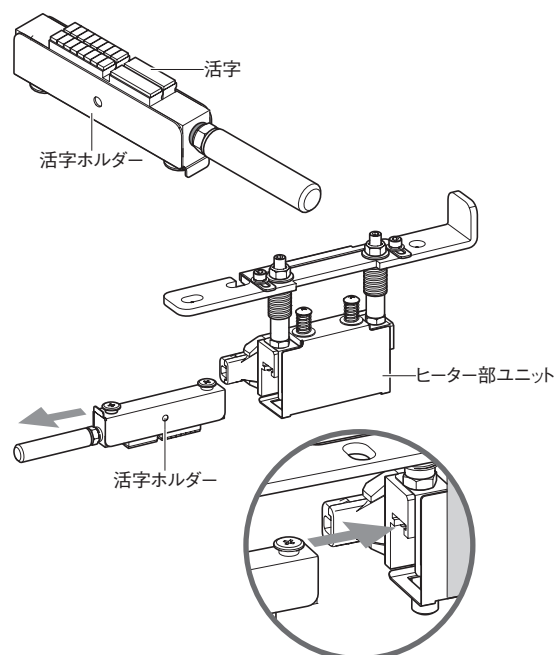


7-2 活字をセットする

「8-3 活字の交換」(→ P.21)を参照して、活字ホルダーに活字を入れて、ヒーター部ユニットにセットします。

MEMO 工場出荷時にはあらかじめ活字が1列セットされています。

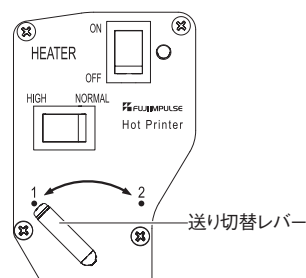
注！ 活字ホルダーの2つの突起部がヒーター部ユニットの溝に確実に入るようにまっすぐ差し込んでください。



7-3 プリントテープの送り量を設定する

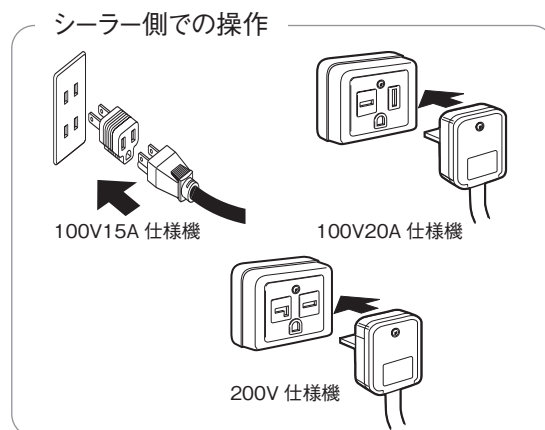
「9-2 印字列数の切替」(→ P.27)を参照して、
活字の列数に合わせて送り切替レバーを設定します。

MEMO 工場出荷時には1列送りに設定されています。



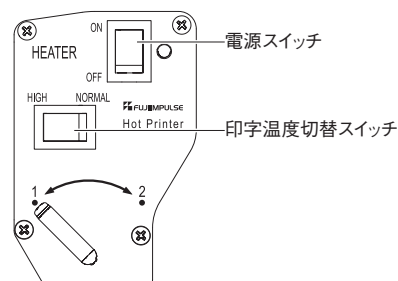
7-4 シーラー本体の電源スイッチを ON

シーラー本体の電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを ON にしてください。シーラーの取り扱いについては、シーラーの取扱説明書を参照してください。



7-5 プリンターの電源スイッチを ON

プリンターの電源スイッチを ON にしてください。同時にプリンターの電源ランプが点灯し、ヒーターが温まり始めます。



7-6 印字温度を切り替える

通常は NORMAL で使用し、HIGH にすると印字温度が高くなります。

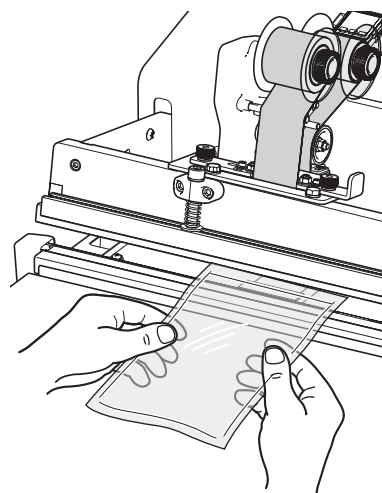
印字する袋（フィルム）や使用環境に応じて、印字温度を切り替えてください。

7-7 適温になるまで待つ

ヒーターが印字可能な状態に温まるまで 10 ～ 15 分お待ちください。

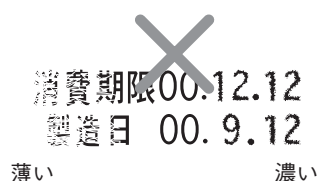
7-8 シーラー本体でシール作業を行う

ヒーター部が印字可能な状態に温まればシーラー本体のシール部に袋（フィルム）をセットし、シール作業を行うとシールと同時に活字受けゴムのある位置へ印字が行われます。



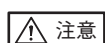
7-9 印字状態の確認

印字がきれいにできていない場合は、「9-1 ヒーター部ユニット（活字）の高さ調整」（→ P.26）を参照して、きれいな印字ができるよう調整を行ってください。

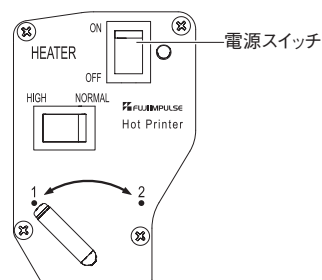


7-10 電源スイッチを OFF

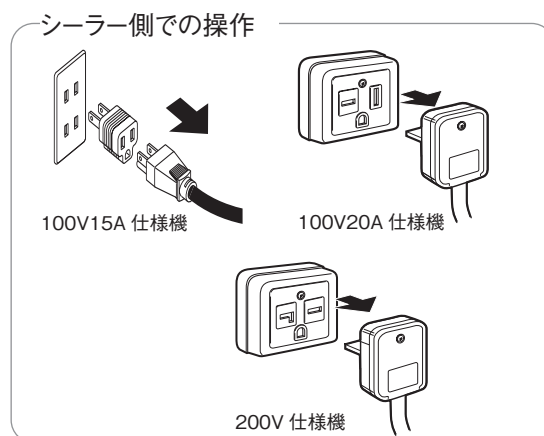
作業が終わりましたらプリンターの電源スイッチを OFF にし、シーラーの電源スイッチを OFF にしてください。



注意 電源スイッチを OFF にしてもしばらくはヒーター部は高温のため火傷をする危険性があります。不用意に触れないように注意してください。



長時間使用しない場合は、シーラー本体の電源プラグを手で持ってコンセントから抜いてください。



7-11 作業終了後の点検

作業終了後は、清掃を行い、活字などの部品が傷んでいないか点検を行い、必要に応じて交換をしてください。



注意 電源スイッチを OFF にしてもしばらくはヒーター部は高温のため火傷をする危険性があります。清掃の際はプリンターのヒーター部が十分に冷えてから作業を行ってください。

